中四国
初公開



「金地葵祭屏風」田中月耕 筆

田中月耕は京都に生まれ、幸野楳嶺に師事して日本画を修学し、明治期には京都青年絵画共進会の創立に参画した。花鳥・山水を主題とする作品を制作し、楳嶺門下の一人として京都画壇に名を留めるが生没年は未詳である。

「金地葵祭屏風　左隻」（部分）田中月耕 筆 大正時代



「金地葵祭屏風　右隻」（部分）田中月耕 筆 大正時代

葵祭のお宮さん

世界遺産

京都 下鴨神社展

王朝文学と御神宝が語る神の森の歴史と文化

令和8年
11月5日㊌▼10日㊋
10時30分～18時30分

福屋八丁堀本店 7階 催場

※11月5日㊌は12時30分開場・最終日は17時閉場
※ご入場は閉場の30分前まで

入場料 一般・大学生 1000円 高校生以下 無料
※障がい者手帳提示によりご本人と同伴者1名様まで無料



十二単衣の着付けの様子を解説付きで特別にご観覧いただけます。

《十二単衣の着付けと王朝舞》
日時：11月7日（土）・8日（日） 第一部11時～ 第二部15時～
場所：福屋八丁堀本店 7階 催場会場（入場券が必要です）

《主催》 公益財団法人 世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会
一般財団法人 世界遺産下鴨神社崇敬会

《後援》 中国新聞社、京都ユネスコ協会、京都府、京都市
賀茂御祖神社（下鴨神社）、賀茂御祖神社式年遷宮奉賛会
世界遺産下鴨神社ラグビー第一蹴の地顕彰会、賀茂いつきのみや顕彰会

葵祭のお宮さん
世界遺産 京都 下鴨神社展

下鴨神社（賀茂御祖神社）は、京都三大祭のひとつ「葵祭（賀茂祭）」が執り行われることで全国に知られ、葵祭は一四〇〇年の歴史をつなぐわが国最古の祭りであり、平安遷都後は勅祭として朝廷や貴族から崇敬を集め、「祭り」と言えば葵祭を指しました。また、下鴨神社には「式年遷宮」とよばれる最重要の祭儀があり、国宝の御本殿二棟をはじめ、重要文化財社殿等の造替（檜皮屋根の葺替・金具修理・漆の塗り替えなど）を行います。遷宮は二十一年ごとに行われ、長元九年（一〇三六）に後一条天皇の御宣旨で制度が確立し、令和十八年（二〇三六）斎行の第三十五回式年遷宮は一〇〇〇年の佳節となります。

本展は第三十五回式年遷宮を記念し、下鴨神社の祭儀・信仰、中四国地方との関りを、田中月耕筆「金地葵祭屏風」（中四国初公開）など、世界遺産・下鴨神社の至宝をもってご紹介いたします。何卒多くの方々にご高覧賜りますようご案内申し上げます。



「御蔭祭絵巻」部分（御神馬・江戸時代初期ごろ）



「須賀利御太刀」（天保度撤下神宝）



「御天冠・御天冠筥」（天保度撤下神宝）



「御神服」（東本宮・天保度撤下御神宝）

主な展示内容

◆下鴨の神様／後陽成天皇御宸翰「鴨大明神」ほか
◆鴨社の御神宝／天保度撤下御神宝（御天冠など）ほか
◆王朝文学と下鴨神社／元和本『源氏物語』、十二単衣、田中月耕筆「金地葵祭屏風」ほか
◆重要祭儀・御蔭祭／御蔭祭飾馬馬具一式、賀茂祭神饌（複製）ほか
◆伝統の継承～けまり～／蹴鞠装束一式ほか
◆中四国地方と下鴨神社／頼山陽『山陽詩鈔』・『山陽遺稿』（版本）、貫名菘翁『蓼倉文庫蔵書目録』（自筆）ほか

◆会　場　福屋八丁堀本店　7階 催場
◆会　期　令和8年11月5日（木）～10日（火）
◆時　間　10時30分～18時30分
※11月5日（木）は12時30分開場・最終日は17時閉場
※入場は閉場の30分前まで
◆入場料　一般・大学生 1,000円　高校生以下無料
※障がい者手帳提示によりご本人と同伴者1名様まで無料

福屋八丁堀本店 アクセス
福屋八丁堀本店 7階フロアガイド

Fukuya
福屋八丁堀本店
広島市中区胡町6-26/電話(082)246-6111㈹
https://www.fukuya-dept.co.jp

令和18年　第35回下鴨神社式年遷宮　＜式年制度宣旨1000年＞

〈主催〉公益財団法人 世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会
一般財団法人 世界遺産下鴨神社崇敬会
〈後援〉中国新聞社、京都ユネスコ協会、京都府、京都市
賀茂御祖神社（下鴨神社）、賀茂御祖神社式年遷宮奉賛会
世界遺産下鴨神社ラグビー第一蹴の地顕彰会、賀茂いつきのみや顕彰会

糺の森財団　崇敬会　下鴨神社

下鴨神社
（賀茂御祖神社）
京都市左京区下鴨泉川町59
TEL 075-781-0010/FAX 075-781-4722
https://www.shimogamo-jinja.or.jp